



長野県民生児童委員だより

つなぐ

Vol.134

2018
Autumn

平成30年10月1日

発行人 長野県民生委員児童委員協議会連合会
会長 伊藤 篤志

編集人 編集委員会
委員長 熊井 文弘

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号
(長野県社会福祉協議会内)

特集

平成30年度民生委員児童委員協議会会長研修

Contents

- ◆ 特集 平成30年度民生委員児童委員協議会会長研修 …… 2~3
- ◆ シリーズ 子育て支援事例
児童虐待防止とオレンジリボン運動 …… 4
- ◆ 平成30年度関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会報告 …… 5
- ◆ 民児協訪問
朝日村民生委員児童委員協議会 …… 6
川上村民生児童委員協議会 …… 7
- ◆ 受賞者紹介 …… 8

平成30年度民生委員児童委員協議会会長研修

中南信会場は8月23日に伊那文化会館で、東北信会場は24日に県庁講堂で会長研修が開催されました。ルーテル学院大学学長、市川一宏氏を迎え、民生児童委員のあり方を確認し、民児協の活動と運営管理、地域での関係機関・団体との連携などについて学びました。

24日研修の一部を要約して掲載いたします。



ルーテル学院大学
学長 市川一宏氏

◆◆◆ 講義 ◆◆◆

「民児協会長・副会長が
地域の課題解決に
果たすべき役割について」

地域の生活課題を 見据えて活動

民生委員100周年記念大会が昨年東京で開催され、1万人が集まりました。その23倍が全国で活動しています。民生委員制度は世界にない日本の誇り



▲研修全体の様子

です。この10年で、民生委員の意見具申政策提言によって政策が実現しています。その時々地域の課題を見つけて実践してきました。

いま、人口減少と過疎高齢化が多くなることで課題となつていきます。これからは住民が集まれる場を地域で作れるかが課題です。また児童虐待の問題が増え続けています。親族や地域社会から孤立した家庭、貧困と孤立が大きな児童虐待の要因です。児童虐待予防は、迅速で的確な予防が大事です。

民生児童委員の役割は二つ。一つは受け止めること、一つはつなぐことです。虐待などの課題解決の中心的なメンバーではなく、専門職を補足する形の役割です。

そして、民生児童委員活動は人のためだけでは

なく、自分のためでもあるのです。人のことを思いやることは精神的に豊かなものです。訪問することは、歩くりハビリでもあります。

民生児童委員活動は 「共助」が基本

「ひとごと」ではなくて「わがごと」と捉え、課題を理解して活動していくことが重要です。助ける、助けられるのではなく、互いに助け合つことを軸にしていくことだと思います。

民生児童委員の役割は、受け止めることだと申し上げました。問題を発見して必要な情報を提供していただきたい。当事者に同伴して地域包括支援センターに行くなど、もし必要ならその人に合った動きをする。協働者の一員であり、つなぐ専門家として行動して頂きたいと思えます。

活動を通して福祉への理解を進めてください。皆さんの活動は地域が豊かになっていくことにつながっていきます。そして、もっと民生児童委員活動を広報していただきたい。できる範囲で、民生児童委員みんなで考え、実施していくことが不可欠です。

そして、民生児童委員と関係機関の役割分担と連携の強化を進めてください。新任委員へのフォローもお願いします。また、発災時にはまず自分の身を守る事が大事です。民生児童委員として無理のない活動をお願いします。

民生児童委員同士、悩みを話したり、一緒に考えたりできる場が求められています。民生委員自身が孤立しては続かないのです。委員同士、支え合っていたきたいと思います。

よりよい民生委員・児童委員活動のための委員間の連携

グループ21の討議の様子を要約して掲載します。

北信会場：グループ21
メンバー

高橋 敏夫 (飯山市)
中山 博 (池田町)
矢野 孝夫 (上田市)
武重 和彦 (佐久市)
大島 剛 (千曲市)
清水久美子 (長野市)
(敬称略)



—— 最近取り組んでいることは

高橋 9月に敬老会と合同金婚式祝賀会を計画中。

中山 10月に研修として少年刑務所に視察の予定を立てている。

矢野 高齢者の移動足の確保をどうしたらいいか思案中。

武重 地域の災害時にどうやって真剣に取り組むか区と連携して地図を作っていることに取り組んでいる。

大島 定例会と会長会をいかに機能させるかを日々考えている。

—— 委員が相互に連携することにより課題を解決した事例は

大島 7地区の会長会があり、そのあと定例会が各地区である。ケース研究があって、事例や問題点、事例解決策を出してもらい解説する機会をもっている。

高橋 定例会の中でそれぞれの意見を聞いて、問題を解決方向にもっていった。

中山 新任の委員が、見守りに行ったら当事者が亡くなっていた。警察とのやりとりなど、地域包括センターや、担当課と話して解決した。絶対に1人で屋内に入らず、担当の役所へ連絡することが大事。

武重 委員間の連携促進のために行っている事例は月に一度の定例会の中で意見交換と事例発表。

情報共有して問題解決できるようにしている。緊急時には電話連絡で横の連携を。一緒にボランティアを月に一回やっている。弁当の配布もやっていて、みんなで連携をとっている。

大島 地区の定例会の運営について、いかに充実を図るかを工夫。

矢野 毎月事例を出していただき、それに対してどういう方法があったか、検討会をやる。半年に1回要望に従って勉強会を。親睦会を年数回開催。

清水 37人中31人が新任委員のため、年に数回は場所を変えて食事をしながら懇親を図っている。

高橋 一人一人から出る悩み事を、役員と相談し情報交換しながらやっている。

中山 月一回定例会をやって、進行は副会長に。あいさつ運動、新年会・暑気払い、1泊2日の研修旅行を年1回。特養のシーツ交換など2カ月に1度ずつボランティア作業をしている。

—— 地域住民や関係機関等との連携についての課題は

武重 災害時の区の役員との連携を密にしたいが、うまくとれていない。

大島 各関係機関との連携をより図るため、民生児童委員活動の理解促進に努めている。

矢野 地域の自治会未加入者が多い。特に高齢で困窮している未加入者への緊急時の対応が課題。

清水 関係機関につないでもその後どうなったのかの情報が出されないことが課題。

高橋 飯山は豪雪地帯で大変なのは冬の期間。除雪作業は市と連携しているが、作業できる人がいないことが課題。

—— これから取り組みたいこと

武重 定例会の充実を図りたい。いきいきサロンを喜んでいただける内容にしたい。



▲グループ討議の様子

大島 来年の改選期に向けて、管理台帳の整備など対応していきたい。

矢野 地区社協とまちづくり協議会の構成団体として、高齢者の足の確保や、子どもも集まれるサロンの場所を立ち上げたい。

清水 行政などの関係機関と無駄のない情報交流をしていきたい。信頼関係を築いていければ。

高橋 老人会に参加している。年々参加者が少なくなっている。参加を促進するにはどうしたらいいか取り組みたい。

—— 最後に先生から助言の要旨

定例会は、疑問を出してもらって雰囲気づくりを。委員同士自然に話せる関係作りを。他団体との連携については、あまり他の民児協のことを気にしすぎず、自分がないをすべきかを考えて行動して下さい。民生委員制度が100年を迎えた歴史を忘れないで、今後も活動していったほしいと思います。

虐待防止とオレンジリボン運動

シリーズ 子育て支援 事例



▲フェルトで形づくったオレンジリボン

児童虐待の現状と 国の対策

全ての子どもは、「児童の権利に関する条約」の精神にのっとり、適切な養育を受け、健やかな成長・発達や自立が図られることなどを保障される権利があります。

児童相談所への児童虐待相談対応件数は2016年度全国で12万件を超え、5年前と比べ倍増。今年7月20日安倍総理大臣を筆頭とした関係閣僚会議が開催され、「児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策」が決定されました。

県内では昨年度、児童相談所（県内5カ所）における児童虐待相談対応件数は、2,048件（対前年度比107.3%）。女性相談センター等の相談機関が受け付けたDV相談件数は、1,592件（対前年度比105.2%）。「長野県児童虐待・DV24時間ホットライン」への相談件数は、1,053件

（対前年度比64.2%）です。

国では毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待防止のための広報・啓発活動など種々な取組を集中的に実施しています。

市民によるオレンジ リボン運動とは

オレンジリボン運動とは、子ども虐待防止のシンボルマーク「オレンジリボン」を広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。子どもの虐待の現状を伝え、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただき、市民のネットワークにより、虐待のない社会を築くことを目指しています。

現在、認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワークが推進役となり、オレンジリボン運動を全国に呼び掛けています。起源は2004年、栃木県小山市で3歳と4歳になる兄弟が父親の友人から暴行を受け死亡した痛ましい事件です。翌年、同市の「カンガルーOYAMA」は子ども虐待防止を目指してオレンジリボン運動を始めました。NPO法人「里親子支援のアン基金プロジェクト」が協力し育てました。児童虐待防止全国ネットワークは、2006年からオレンジリボンの総合窓口を担っています。

（認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワークホームページより一部引用）

<http://www.orangeribbon.jp/>

県内の活動紹介 長野市主任児童委員部会

長野市の主任児童委員部会の市内7つのブロック長が7月6日、市ふれあい福祉センター和室でオレンジリボンのバッジ作りを実施しました。

「11月の児童虐待防止推進月間に、長野市の民生児童委員875人にこのリボンをつけて活動してほしい」と話すのは部会長の石田三千夫さんです。オレンジリボン運動をよく知る児



▲オレンジリボンづくりの作業風景



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

児童



一式典の様子

平成30年度 関東ブロック民生委員 児童委員活動研究協議会

報告

山梨県で開催



分科会の様子

児童養護施設「松代福祉寮」に相談。簡単に誰でも作れることが分かり「主任児童委員を中心にこの活動をしたらどうか」と今年3月、部会に提案し実現しました。

この日、オレンジ色のフェルトを裁断し形

を整え、糸やボンドで止めて安全ピンを付ける作業をしました。「手作りでの活動にひかれた。委員のみなさんに子ども虐待防止に向けてほしい」「気軽にオレンジリボンをつけてもらえれば」と話すのは副会長の南

沢圭子さんと、栗原榮子さんです。オレンジリボンはわずかな経費で簡単に作れます。作り方はごどもの児童虐待防止全国ネットワークホームページにも紹介されています。

第78回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会が、6月26・27日、山梨県甲府市（甲府富士屋ホテル）で行われ、19都県市から328人、長野県からは伊藤篤志会長をはじめ19人が参加しました。

初日は、式典に続いて全体会が行われ、全国社会福祉協議会、佐甲学民生部長が「社会福祉をめぐる動向と民生委員・児童委員活動」と題する基調報告を行いました。

その後、NPO法人フードバンク山梨理事長の米山けい子さんによる記念講演「フードバンク活動から見える子どもの貧困」がありました。

米山さんは、10年前、南アルプス市でフードバンクを設立。以来、生活困窮世帯への食糧支援を続けてきました。援助を受ける抵抗感を少しでも減らすと、小中学校を通して用紙を配り、希望する世帯がフードバンクに直接申し込む仕組みも作りました。

米山さんは「支援世帯が山梨県だけでも582世帯にのぼっており、飽食の日本にあつて、明日の食べ物にも事欠く子どもの貧困がむしろ広がっている」と厳しい現状とフードバンク活動の有用性について訴えました。

2日目は、「地域版・活動強化方策の策定」など4つの分科会が行われました。「さまざま課題を抱えた人びとを支えるために」がテーマの分科会では、長野市安茂里地区民児協会長の米山秀一さんが、一人暮らしの障がい者が抱える問題について実践報告をしました。障がいを持つ男性宅の庭木が繁茂し、ブロック塀が通学路に倒れ掛かっているという近隣住民からの相談を受けて、市や警察など関係機関と協議を重ねながら、庭木の伐採とブロック塀の撤去に至る過程と問題点について報告、参加者の関心を呼びました。

次回の活動研究協議会は川崎市で開催されます。

講演のご案内

民生委員制度創設100周年記念 茅野市民生児童委員協議会発足60周年

講演・フォーラム(一般公開)

- ◆日時 2018年11月28日(水) 10:30開場11:00開演 15:45終了(記念式典9:30~10:30)
- ◆会場 茅野市民館マルチホール ◆定員 先着600人
- ◆テーマ 地域共生! 住みよい社会をつくる2018地域から
- ◆講演(基調講演) 脳を鍛える活脳トレーニング
篠原菊紀さん(公立諏訪東京理科大学工学部応用情報工学科教授)
- (記念講演) あたたかい社会をつくる
鎌田實さん(諏訪中央病院名誉院長・医師・作家)

◆巷談(シンポジウム) 「気づき」を形に変える 講師と地域の代表

《主催》茅野市民生児童委員協議会
《共催》茅野市社会福祉協議会／長野県民生委員児童委員協議会連合会
《後援》茅野市

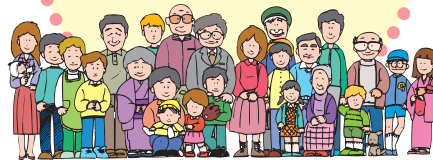
※長野県地域発元気づくり支援金事業

訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協 だより



朝日村民生委員児童委員協議会



▲民生児童委員の皆さん（前列左から2番目が会長）

新しい村役場を村民の交流の場に 災害時に備え、村独自の支援体制を強化

松本平の最南端、その名の通り一番に朝日がのぼる美しい村として知られています。豊かな森林に囲まれて広がる扇状地にはレタス畑が続いています。今年4月、開村130年記念に合わせ、新庁舎が竣工となりました。村民から寄付された巨大なヒノキの柱をシンボルとした木材をふんだんに使った庁舎。役場としての機能だけではなく、村民が交流できる会議室やホールも完備。併設されたコンビニは8月にオープンし、訪れた人が採りたての農産物を購入するこ

ともできます。

「松本市や塩尻市への通勤圏でもあり、住みやすい場所。人口はわずかに減少傾向にある」と話すのは会長の齊藤朝義さんです。人口は現在4,602人で、昭和40年と比較するとほぼ同数、一方核家族化で世帯数は1.5倍となりました。小学校は1校。年一回、教職員全員と情報交換をします。気になる子どもについては地区担当と担任が情報を共有します。保育園も村内に一つ。夏は川遊び、秋は焼き芋、冬は餅つきと、民生児童委員全員でお手伝いをしています。中学校の通学圏は山形村と松本市の一部にまたがっています。山形村の民生児童委員との合同研修会も毎年行っているとのこと。

また、今年初めて地元のJA営農婦人部からの申し出で、ひとり親家庭約30軒に野菜を届ける活動にも協力しました。「ひとり親家庭を訪問する機会がないので、顔の見える関係を築ききっかけに」と主任児童委員。秋にも根菜類を中心に配布予定です。
「今後の課題は災害時の対応」と齊藤会長。支援が必要な人の把握材料としては、村が作成する「要支援者名簿」、民生児童委員のもつ「福祉台帳」、地区で作成

している「お助け台帳」があります。行政の担当課を中心に、この三つの整合性をとり、いざというときには、行政だけに頼らず、地域で即座に避難や救援ができる態勢づくりを目指していきます。
「日頃より互いに気遣う心を育てるよう、民生児童委員が啓発することが大事」と、定例会で確認しました。
「村で育った委員が多いため、地域から信頼されている。今後は孤独死という課題も見えてきている。お年寄りと言っても多く話せるよう心掛けていく」と齊藤会長。村政130年を機に、5月の強化月間に合わせ、全地区の通学路の安全点検やゴミ拾いをしてPR活動も行い、朝日村の広報誌にも取り上げられました。



▲小学校通学路の安全点検と環境美化活動

川上村民生委員児童委員協議会



▲民生児童委員の皆さん（前列左から2番目が会長）

農業を背景に行政・社協・医療施設と連携した
保健・福祉・医療一元化システムの中で

川上村に入ると見渡す限り広がるレタス畑に圧倒されます。長野県の最東端に位置し、レタスの生産量日本一を誇り、大規模集約農業で潤う村として知られてきました。民生児童委員は13人、内主任児童委員が2人。「川上村は畑仕事を中心にさまざまな計画がなされている」と会長の井上俊一さん。平成5年から村は健康で生きがいのある福祉社会づくりを掲げ「ヘルシーパーク（保健・福祉・医療の一元化）構想」を策定。平

成10年には施設の中央棟が完成し、村の保健福祉課と社会福祉協議会を同所に配置。村民交流室・トレーニングジム・お風呂などが整備されました。また診療所・訪問看護ステーション・デイサービスは併設しており、消防署と駐在所も隣接しています。「ここを拠点に様々な部署やサービスと連携できるので活動しやすい」と井上さん。民生児童委員の中には福祉施設・行政の経験者や薬剤師もいて、保健・福祉・医療の総合的なネットワークの中で顔の見える支援活動が実現しています。

一方で、現在人口は3850人と減少。独居老人が170人、老々世帯が123世帯です。「かつてに比べ、農作物の価格競争が激しくなり、朝早くから夜遅くまで長時間働く傾向に。子育てや介護にまで手が回らない」と話します。また農家の担い手不足もあり、一人暮らしだけでなく、農業経営する息子と二人暮らしのお年寄りへの見守りも必要となってきました。畑には、中国・フィリピン・ベトナム・インドネシアからの研修生の姿が目立ちます。

「春から秋にかけて、農業に従事する家族と共に生活する高齢者



▲ヘルシーパークの会議室で定例会の様子

への心配りを欠かさないよう心掛けていく」とのこと。定例会には必ず保健福祉課・社協・包括支援センターも同席し、その場で情報を共有し、解決に向けたそれぞれの役割を確認します。一定例会ではみんなに発言してもらうようにしている。民生児童委員は、さまざまなサービスや専門職へつなぐ際の「通訳者」と井上会長は強調します。

「今後は子どもの問題や、安全性の保障など、常に地域の課題に目を向け、専門家と共有していかれたら」。官民のネットワークが構築された支援態勢の中で、民生児童委員の役割は、農業を背景に、しっかりと見守りと、見守られる側の代弁者として日々活動しています。



表紙写真紹介

須坂市塩野町

実りへの感謝を込めて

撮影

須坂市東地区民生児童委員・主任児童委員

宮下 芳一 さん

profile

我が住む塩野町は、須坂市東部の扇状地に広がる標高550メートルの絶景の耕地にあります。江戸期から石垣を積んで新田開墾をした地で、今もその先祖の歴史を引き継ごうという思いの方々が力を出し合い、四季折々の日本の原風景を生み出しています。

信州型コミュニティスクールの地域講師も依頼されています。小中学生に「須坂の文化財全103件」を、撮りためた写真で紹介するお手伝いができればと思っています。



受賞おめでとうございます

長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰

平成30年9月12日（水）
長野県社会福祉大会において表彰

○永年勤続民生児童委員表彰（17名）

Table listing award recipients for long-term service, including names and municipalities like 阿南町, 木下南島, 喜久雄, etc.

○優良単位民生児童委員協議会表彰（4協議会）

麻績村民生児童委員協議会 / 長野市大豆島地区民生委員児童委員協議会 / 茅野市ちの地区民生児童委員協議会 / 東御市柵津地区民生児童委員協議会

長野県社会福祉協議会会長表彰

平成30年9月12日（水）
長野県社会福祉大会において表彰

○民生・児童委員功労表彰（133名）

Large table listing recipients for merit awards, organized by municipality such as 御代田町, 長和町, 下諏訪町, etc.

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

平成30年9月27日（木）
全国民生委員児童委員大会において表彰

○優良民生委員児童委員協議会表彰（3協議会）

松本市波田地区民生委員児童委員協議会 / 上田市川西地区民生委員児童委員協議会 / 須坂市日滝地区民生児童委員協議会

○永年勤続民生委員・児童委員表彰（130名）

Large table listing recipients for long-term service awards, organized by municipality such as 御代田町, 長和町, 下諏訪町, etc.



編集委員
リレー日記

昨年は記念すべき100周年の佳節を迎えました。新たな入口「ガン」支えあう 住みよい社会

その上「つなぐ」発刊に伴う取材先との交渉や紙面文面、メインテーマなどなど、事務局の心温かなアドバイスをいただき、試行錯誤のなか毎回仕上げて下さる熊井委員長、寺澤記者各位のご苦勞を

今年、伊那で開催された会長研修では、「私たちの活動は気付きを大切に」。また、「民生児童委員は何をするか：1分から3分で説明できるようなポイントを集約すること」とのご指導がありました。

(増田早苗)